

根の生育にこだわった長期肥効の新タイプ

スミソイル®

N-800C

N 800
P 2400
K 500 (mg/%)

見掛比重 0.30~0.40 kg/L
pH 6.0~7.5

製造時充填容量：45L

取得トレイ数：チェーンポット 約9枚
みのる220穴トレイ約13枚

配合主原料：ピートモス、パーミキュライト、ゼオライト、炭

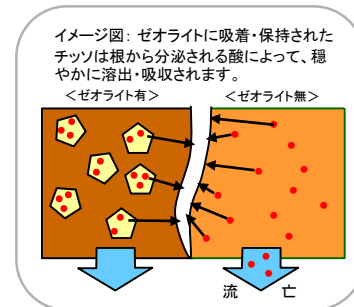
肥効期間：約80日間



● 肥効の長さが自慢です

スミソイル®には、高品質のゼオライトを使用しています。このゼオライトに効率よくチッソを吸着させることにこだわった結果、長期の肥効を実現しました。

ゼオライトに吸着されたチッソは、根から分泌される根酸のはたらきによって苗の生長に必要な分だけ溶出され、過剰なチッソによる肥料焼けや、灌水時のチッソの流亡が抑えられます。



● 品質管理を行っています

製品を製造することに、工場ですみやかに品質管理検査を行い、規格に合格したものだけを出荷しています。



スミソイル ネギ類専用培土には高品質の国産ゼオライトを使用しています。

● 使用上の注意点

- ・ スミソイル®ネギ類専用培土は、ネギ類の生育にあわせた肥料を配合しています。レタス、ブロッコリーなどの葉菜類で使用されますと、肥料バランスの違いなどによって苗に異常が発生する恐れがあります。
- ・ スミソイル®製品を高湿や直射日光のあたる場所、雨に濡れる場所などで保管しないでください。変質の恐れがあります。
- ・ 開封した培土は長期保管せず、すぐに使い切ってください。カビや病気の発生の原因になります。

スミソイル®シリーズについてのお問い合わせは

住化農業資材(株)本社
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17
TEL：(06)6204-1243 FAX：(06)6204-1249

住化農業資材(株)東日本営業所
〒323-0022 栃木県小山市駅東通2-37-3 住友生命小山ビル
TEL：(0285)23-1935 FAX：(0285)23-2169

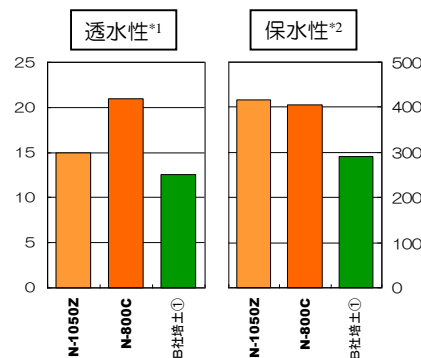
- ①高品質のゼオライトを配合しているため、ネギやニラの長期育苗でも追肥の心配はありません。
- ②炭を配合しているため、従来の培土よりも根量が多くなり、定植後の生育が極めて良好です。
- ③炭効果で健苗率が向上します。
- ④通気性・透水性・保水性に優れ、育苗時の水管理がしやすい培土です。
- ⑤品質管理に努めていますので、均一な良苗生産が出来ます。

● 「苗の健康はまず根から」

スミソイル®N-800Cは、従来のスミソイル®N-1050Zの保水性はそのままに、炭を添加することで透水性をさらに向上させました。酸素と水分がよりバランス良く根に供給され、根をより健やかに生育させます。



写真：(左から)スミソイル®N-1050Z、スミソイル®N-800C、B社培土①、B社培土②、C社培土。播種後75日目。



*1 透水性：定水位飽和透水係数。水が湿った培土中を進む速さ(mm/分)
*2 保水性：圃場含水量、吸水後24時間培土中に保持される水の量(kg/m³)

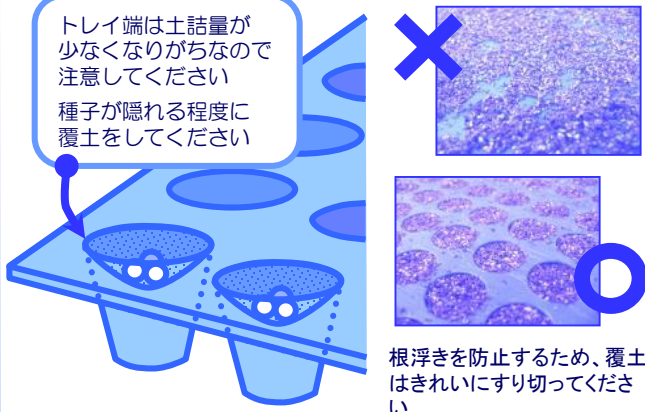
セル育苗の手引き

5つのコツ

をおぼえてるだけで、セル育苗はとても簡単

コツ その① 端まで詰めて、覆土は3ミリ

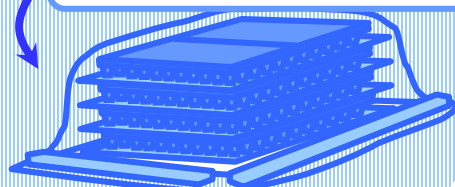
トレイ端は土詰量が少なくなりがちなので注意してください
種子が見える程度に覆土をしてください



根浮きを防止するため、覆土はきれいにすり切ってください

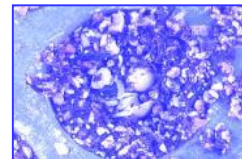
コツ その③ 発芽の温度はだいたい20℃

15~25℃の催芽室か、気温の安定した場所に、乾燥しないようシートをかぶせて3~7日程度置いてください

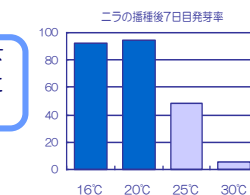


ニラの発芽は、地温が15℃以下・25℃以上になると低下すると言われています

※ハウスにトレイを並べて催芽する場合も、シートをかぶせて乾燥を防ぎ、なるべく地温が15~25℃になるように調整して下さい

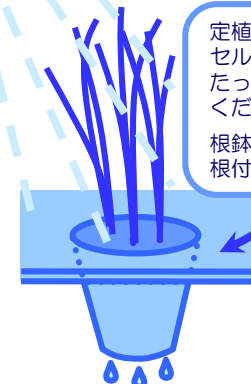


覆土を剥いでみて、種子から芽が出ていたらハウスに移動させてください



コツ その⑤ 定植前にはたっぷり灌水

定植の数時間前にはセル全体が湿るくらいたっぷり水を含ませてください
根鉢の抜けと定植後の根付きが良くなります



播種

初期灌水

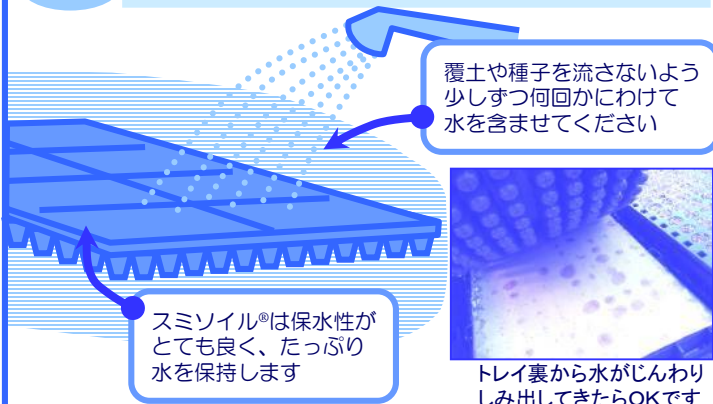
催芽

育苗管理

定植

コツ その② 上から優しく、ゆっくり、たっぷり

覆土や種子を流さないよう少しずつ何回かにわけて水を含ませてください



スミソイル®は保水性がとても良く、たっぷり水を保持します

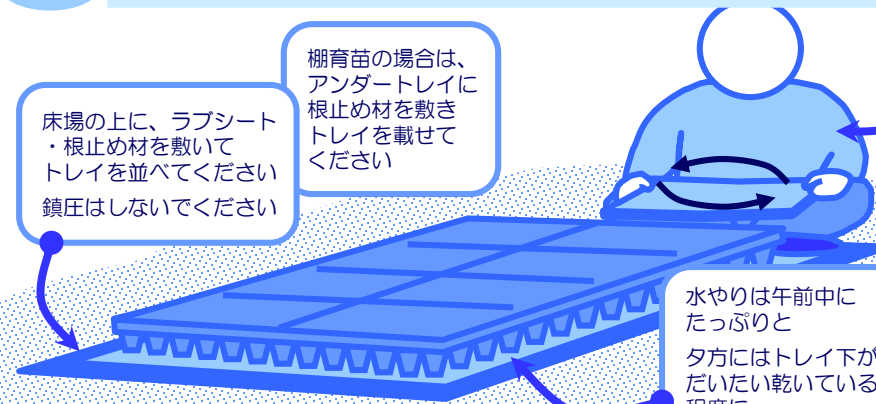
トレイ裏から水がじんわりしみ出してきたらOKです

※ハウスにトレイを並べて催芽の場合は、トレイの下に水が溜まらないよう注意してください

コツ その④ 水やりは「乾かしすぎない」「水を溜めない」

床場の上に、ラフシート・根止め材を敷いてトレイを並べてください
鎮圧はしないでください

棚育苗の場合は、アンダートレイに根止め材を敷きトレイを載せてください



水やりは午前中にたっぷり夕方にはトレイ下がだいたい乾いている程度に

場所ごとに生育差が出る場合は、トレイ回転させたり場所を入れ換えたりして調整してください



トレイ下に水を溜めると、病気や根がらみで根を痛める原因になります